

はじめに

これからの社会は、変化が激しく将来を予測することが困難な時代とされています。今の子どもたちが成人する頃には、社会構造や雇用環境が大きく変化し、職業の在り方について様変わりするとも言われています。そのような社会を子どもたちが力強く生き抜いていくためには、多様な他者と協働しながら新たな価値を創造し、未来を創り出す力を獲得していくことが求められています。義務教育9年間を通じて一人一人が自信と誇りを持ち、安心して学べる環境の中で個性を發揮していけるよう、学校教育も見直していくことが必要です。

平成28年度に策定された下野市教育振興計画では、文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくりを目標とし、未来を担う人づくりの基本施策の下、目指すべき方向性の一つとして小中一貫教育を掲げています。下野市では、平成20年度より推進してきた小中連携教育をさらに発展させ、小中一貫教育の実施に向け、各中学校区の実態に応じて研究を進めているところです。

このたび、下野市学校教育目標の実現のために、義務教育9年間を通じた系統的な指導を充実させる小中一貫教育が推進できるよう、「下野市小中一貫教育推進ハンドブック」を作成いたしました。本ハンドブックは小中一貫教育を推進するための、基本的な考え方や方策をまとめたものです。

子どもたちの成長にかかわるすべての教職員が、小中一貫教育を推進するにあたり、それぞれの立場から知恵を出し合い、よりよい教育の創造に向けて取り組んでいただけるようお願いいたします。



第1章 小中一貫教育が求められている背景 1

第2章 下野市の小中一貫教育について 4

1 これまでの小中連携教育について 4

2 小中一貫教育に向けて 5

第3章 小中一貫教育の取組 8

1 組織づくり 8

2 目指す子ども像の設定 10

3 推進に向けた4つの視点 11

第4章 更なる推進へ向けて 17

1 小中一貫の日について 17

2 年間指導計画や全体計画の整備 18

3 中学校区における取組の地域への発信 20

4 年間活動の流れ 20

参考資料

◆実践研究課題の取組 参考資料1

◆小中一貫教育推進シート 参考資料2